

酒類ガイドライン遵守推進本部だより



平成 20年 12月18日
全国卸売酒販組合中央会
酒類ガイドライン遵守推進本部

「何かできないか」

委員 岡林 啓仁

ビール保証金制度の見直しについて、メーカー4社から回答が来ました。皆様ご承知のとおりですが、個々にお問い合わせしても聞いてくれないから、組合全体でお願いしているにもかかわらず、個々の問題だという回答です。想像していたのと寸分違わずの回答でした。

では皆様は、この保証金制度、どういう計算で金額を決定しているのかご存知でしょうか。私の特約しているビールメーカーさんに聞いたことがありますが、ややこしいので説明出来ないと言われました。

私の会社の信頼度が低いのでしょうか。地方の地場卸は、もうビールメーカーさんには存在価値はあまり無いのでしょうか。でも、こっちにも意地がありますから、相手にしてくれないところは、こっちも相手にしません。

我が高知県の景気動向は、全国ワースト1か2だそうです。県内で誰と話してもいい話は、全くありません。せめてもう少し景気が良ければ、と思う毎日です。

私が、県の理事長に就任して2年弱、組合員の皆様のご協力のおかげで、市場安定問題は、最近大変落ち着いた環境で推移しているようです。

しかし問題は、この景気の悪さに伴う売上げ減少です。高知県では、課税出荷数量が、前年比10%弱のマイナスです。四国四県の中でも飛び抜けて悪い数字です。努力して利益率を上げて売上をそれ以上に減少していますから、問題は、深刻です。当然、簡単に解決しません。

食品団地でのガソリン一括購入。卸団地の食品メーカー&卸の共同配送。

県内でも異業種ではこういった試みが現実になされています。

我が業界でも何か出来ないでしょうか。真剣に知恵を出し合って変革しなければならぬ時だと思えます。

焼酎にまつわる、よもやま話を少し・・・

「芋焼酎水割り。梅干し入り。」が中高年のおじさんに大人気です。何故芋なの？ お店の方に、甲類の焼酎を置いとけば、と言うと、それではお客様に怒られるそうです。あくまで飲みたいのは、芋焼酎水割り梅干し入りなんですって。梅干し入れたら芋の味なんてわからないでしょうに。結局ウイスキーの時代から日本人は、酒は味で飲んでない。

同様に、綺麗なおねえちゃんが沢山おいでのラウンジで、韓国甲類焼酎がメインボトルで、水割りで皆さん飲んでらっしゃる。それって殆んど味が無いのに・・・

焼酎のボトルの首を逆手にもって、約30秒くらいゴマをするように回して下さい。回す前と後では、全く味が変わります。回した方がまるやかで、飲みやすくなります。

「いいちこスペシャル」の瓶は綺麗です。封切り前でも、飲みかけでも、空瓶でも結構です。完全に平行な台の上で斜めに立ちます。まるでマジックショーみたいです。

○ 平成20年11月ビール及び発泡酒等の出荷状況

(単位:kℓ・%)

区分 期間	11月			1～11月		
	当月数量	前年数量	前年比	本年数量	前年数量	前年比
ビール	246,314	280,095	87.9	2,850,452	3,060,062	93.2
発泡酒	95,865	114,336	83.8	1,290,372	1,391,116	92.8
小計	342,179	394,431	86.8	4,140,824	4,451,178	93.0
新ジャンル	115,585	103,018	112.2	1,296,319	1,145,743	113.1
計	457,764	497,449	92.0	5,437,143	5,596,921	97.1